

平成29年度

第1回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

1 アンケートの概要

調査対象者	平成29年度 市政モニター 181人
調査期間	平成29年7月3日(月)～平成29年7月17日(月)
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	① 新居浜市シティブランド戦略の推進について ② 事故のない楽しい太鼓祭りの実現について ③ 消費生活センターの周知度について

回答率

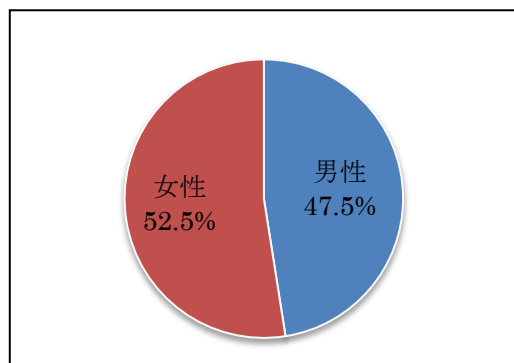
テーマ	モニター数(人)	回答者数(人)	回答率
①	181	161	89.0%
②	181	159	87.8%
③	181	157	86.7%

2 市政モニター内訳(※平成29年7月3日時点)

<性別>

(単位:人)

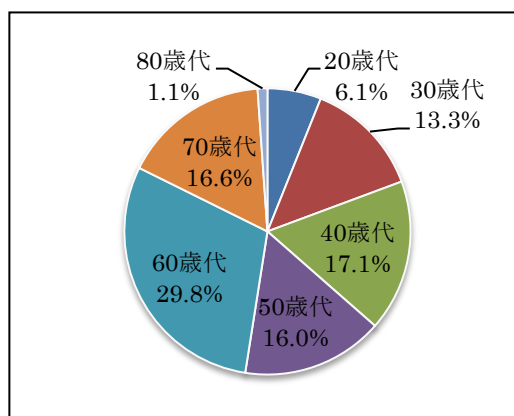
男性	86 (47.5%)
女性	95 (52.5%)
合計	181 (100.0%)



<年代別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
20歳代	2	9	11 (6.1%)
30歳代	4	20	24 (13.3%)
40歳代	8	23	31 (17.1%)
50歳代	12	17	29 (16.0%)
60歳代	36	18	54 (29.8%)
70歳代	22	8	30 (16.6%)
80歳以上	2	0	2 (1.1%)



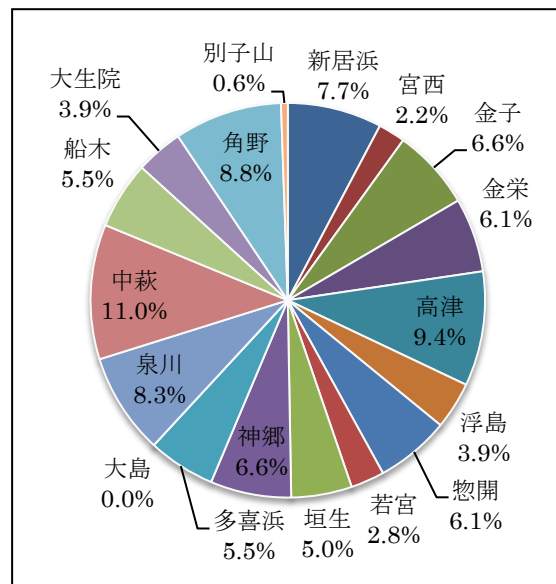
※年齢は平成29年4月1日時点

<居住地域(小学校校区)別>

(単位:人)

	男性	女性	合計
新居浜	2	12	14 (7.7%)
宮西	3	1	4 (2.2%)
金子	10	2	12 (6.6%)

金栄	3	8	11 (6.1%)
高津	10	7	17 (9.4%)
浮島	4	3	7 (3.9%)
惣開	3	8	11 (6.1%)
若宮	4	1	5 (2.8%)
垣生	3	6	9 (5.0%)
神郷	7	5	12 (6.6%)
多喜浜	3	7	10 (5.5%)
大島	0	0	0 (0.0%)
泉川	12	3	15 (8.3%)
中萩	6	14	20 (11.0%)
船木	5	5	10 (5.5%)
大生院	2	5	7 (3.9%)
角野	8	8	16 (8.8%)
別子山	1	0	1 (0.6%)



<回答方法 種別>

(単位：人)

郵送モニター	92 (50.8%)
Eメールモニター	89 (49.2%)
合計	181 (100.0%)

<選任方法 種別>

(単位：人)

公民館推薦	95 (52.5%)
公募	86 (47.5%)
合計	181 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

3 調査結果

テーマ① 新居浜市シティブランド戦略の推進について

【調査趣旨】

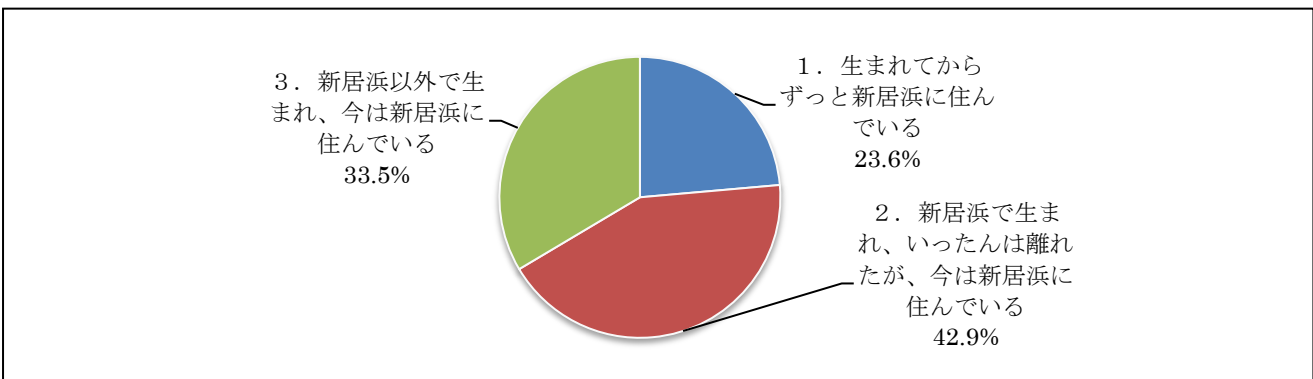
新居浜市では、本市の魅力を生市内外へ発信し、移住・定住の促進や交流人口（本市を訪れる人）の拡大へつなげるとともに、新居浜市民の地域に対する愛着や誇りを高めることを目的として、昨年度に新居浜市シティブランド戦略を策定しました。

本年度は、6月23日に市長宣言イベントを開催するとともに、新聞掲載やタブロイド紙の全戸配布などにより、まずは市民の皆さんへの周知に努めているところですが、今後、取組を進めていく上で数多くの市民の皆さんの受け止め方やご意見等を把握する必要があることから、このたび市政モニターの皆さんのご意見等をお聞きし、シティブランド戦略の参考にしたいと考えていますので、アンケートへのご協力をお願いします。
(担当課：地方創生推進室)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. あなたは新居浜市にずっとお住まいですか？次のうち、あてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

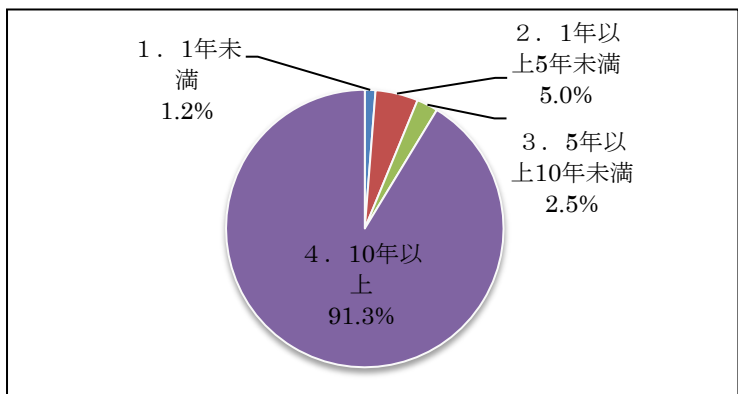
1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる	38人
2. 新居浜で生まれ、いったんは新居浜を離れたが、今は新居浜に住んでいる	69人
3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる	54人
合計	161人



「3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる」(33.5%)と答えた方が、全体の約三分の一となっています。

問3. 新居浜市への居住期間(通算期間)で、次のうちあてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

1. 1年未満	2人
2. 1年以上5年未満	8人
3. 5年以上10年未満	4人
4. 10年以上	147人
合計	161人

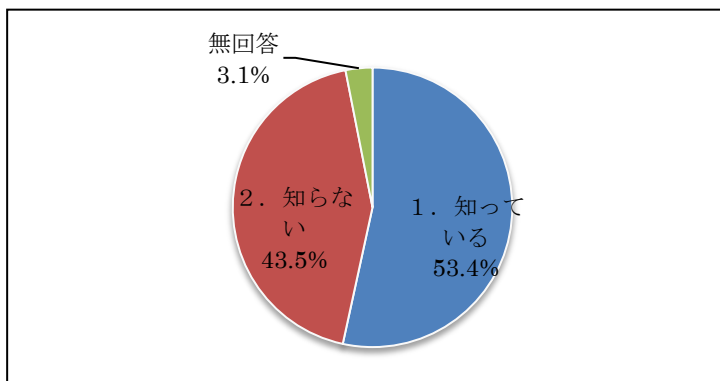


「4. 10年以上」(91.3%)と答えた方が最も多く、全体の9割を超えています。

問4. 今年度、新居浜市がシティブランド戦略に取り組んでいることを知っていますか？次のうち、あてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

～新居浜市シティブランド戦略とは～
 新居浜市のブランド力を高め、市内外へまちの魅力を発信することで、移住・定住の促進や交流人口の拡大につなげる取り組みです。詳しくは、6月末に全戸配布しましたタブロイド版広報誌をご参照ください。

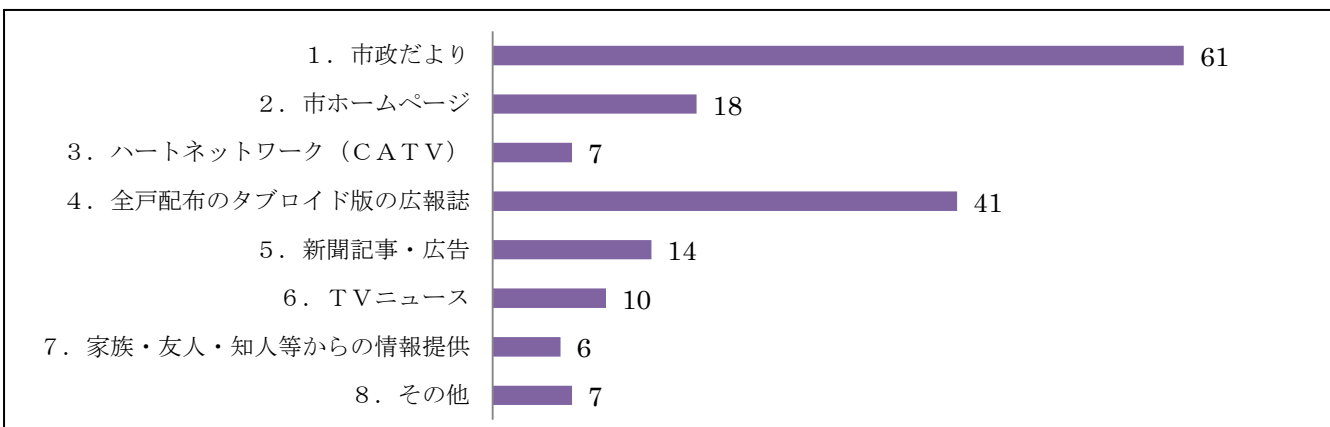
1. 知っている	86 人
2. 知らない	70 人
無回答	5 人
合計	161 人



「1. 知っている」(53.4%)と答えた方が、「2. 知らない」(43.5%)をやや上回っているものの、全体の約4割の方が、新居浜市のシティブランド戦略への取り組みをまだご存じでないことがわかりました。

問5. シティブランド戦略に取り組んでいることを知ったきっかけについて、次のうちあてはまるものをお選びください。(複数選択)

1. 市政だより	61 人
2. 市ホームページ	18 人
3. ハートネットワーク (CATV)	7 人
4. 全戸配布のタブロイド版の広報誌	41 人
5. 新聞記事・広告	14 人
6. TVニュース	10 人
7. 家族・友人・知人等からの情報提供	6 人
8. その他	7 人



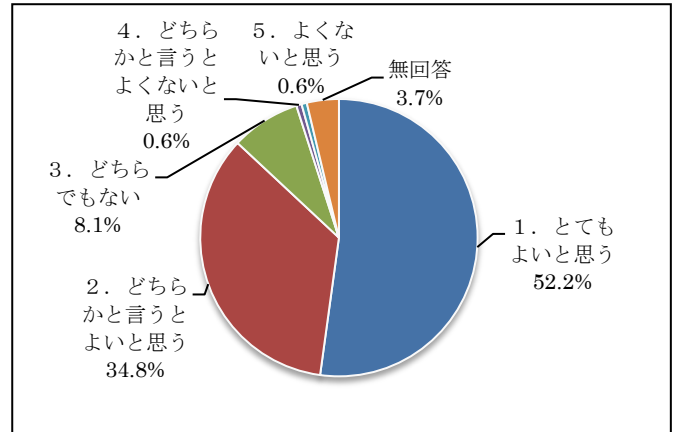
「1. 市政だより」(61人)、「4. 全戸配布のタブロイド版の広報誌」(41人)が、シティブランド戦略に取り組んでいることを知ったきっかけとして多く挙げられています。

問6. 問5で「8. その他」を選んだ場合には、その具体的な内容をお書きください。(自由記入)

- ・市役所の職員から熱心に教えてもらって興味を持ちました。
- ・施設等に掲示されているポスター
- ・市役所入口のポスターで知りました。
- ・フリーペーパー
- ・今回(第1回市政モニターアンケート)の同封資料で初めて知った。

問7. シティブランド戦略に取り組むことについて、次のうちあてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

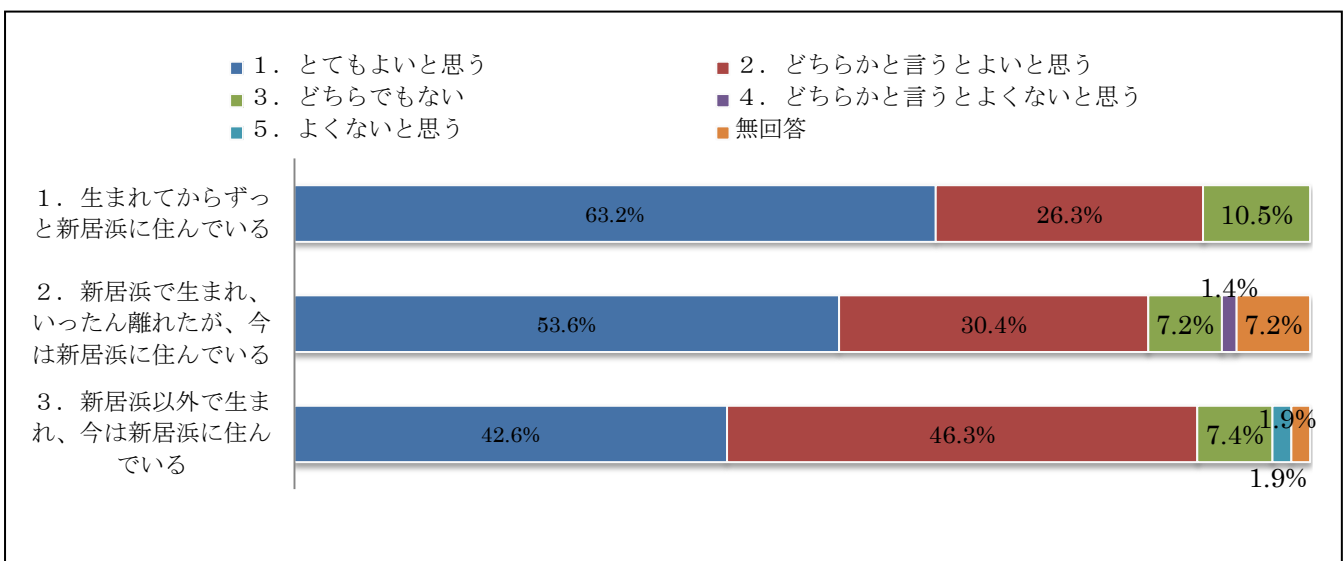
1. とてもよいと思う	84人
2. どちらかと言うとよいと思う	56人
3. どちらでもない	13人
4. どちらかと言うとよくないと思う	1人
5. よくないと思う	1人
無回答	6人
合計	161人



「1. とてもよいと思う」と答えた方が最も多く（52.2%）、全体の5割以上を占めています。「2. どちらかと言うとよいと思う」（34.8%）を合わせると、全体の8割以上の方がシティブランド戦略に取り組むことに肯定的なご意見であることがわかりました。

【クロス集計（問2×問7）】

	1. とてもよいと思う	2. どちらかと言うとよいと思う	3. どちらでもない	4. どちらかと言うとよくないと思う	5. よくないと思う	無回答	合計
1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる	24人	10人	4人	0人	0人	0人	38人
2. 新居浜で生まれ、いったんは新居浜を離れたが、今は新居浜に住んでいる	37人	21人	5人	1人	0人	5人	69人
3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる	23人	25人	4人	0人	1人	1人	54人
合計	84人	56人	13人	1人	1人	6人	161人



問8. 問7でその項目を選んだ理由を具体的にお書きください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

【問7で「1. よい」「2. どちらかと言うとよい」と答えた方からの回答】

- ・新居浜市の価値を高めていこうとしているのは良いことだと思うから。
- ・前向きな感じで良い。何もしないより、何かをの方が良いと思う。
- ・新居浜市は人口が減少し、特に子どもの数が少なくなっているので、市をアピールして若い人たちを受け入れるために賛成です。
- ・新居浜の魅力を知ってもらえるから。
- ・全国にPRができると同時に、市民全体に周知、自覚ができる。本州の人にしてみれば四国すら知らない人が多い。
- ・新居浜は別子銅山というすばらしい財産がありながら、PRが下手だと思う。もっとPRについて考えるべきで、お金をかけるべき。
- ・古き良き伝統は受け継ぎ、時代に合わせて「新しいこと」を取り入れていくことで、さらに良いまちになると思ったから。新しい人がたくさん入ってきてくれると少子高齢化対策にもつながると思う。
- ・周囲は私も含め、高齢者ばかりです。以前のような元気で活気のあるまちになってほしい。
- ・まちの魅力を発信することは良いと思うけど、「ブランド力を高める」というのは今一つなじめない。私は今の田舎の感じの、太鼓祭りが好きで地元に戻ってくる本当に新居浜が好きな人たちのまちであってほしい。
- ・よいと思うが、少し戦略が弱い気がします。「Hello! NEW」をもっと全面的に出してほしい。
- ・人が集まる、人が育つ、人が生きる、そのためには住んでいるところの良い面が大切。また、それを多くの人に知らせないと活かされない。住んでいる人にも自信、誇りを持たせたい。
- ・新しい新居浜が見えてきそう。反対に、もっと力をいれなければならない部分もわかるかもしれない。
- ・新居浜市は病院や大型商業施設、福祉関係などで「住んでみたいまち」として上位にあると聞いたことがあるので、このままではなく次の一手を打つことは大事だと思う。住んでみたいまちとして何が不足しているのか、市民の声を聞く機会を多くつくる必要があると思います。
- ・新居浜はとてもいいところだと思うので、ぜひ他県の人たちにも住んでもらいたい。
- ・市の特性を生かして成功している市はたくさんあるので。
- ・新しい取り組みは市の活性化につながりそう。応援したい。
- ・たくさんアイデアや情報を集約し、住みよいまちに変えていくことは素晴らしいと思う。
- ・新居浜のいいところを認識してもらおうという取り組みは良いと思います。住んでいる人間があまりにも自分のまちを低く見ているとは思うので。ただ、二番煎じ感は否めない。
- ・どうすれば地域がよくなるか、市民が考えるきっかけになるから。
- ・新居浜市の活性化としては良いと思うが、中途半端な感じだと効果ないかな、と思います。

【問7で「3. どちらでもない」と答えた方からの回答】

- ・まだ内容が不明な点もあり、本当に必要なのか、80周年だから何とかしなくては、という感じがする。今の市民が興味を持っていないように感じる。様々な点から問題点を考え直した方が良いのでは。
- ・広報誌はポスティングされていましたが、これがシティブランド戦略に繋がる情報とは考えられませんでした。具体的に何をどうするのがはっきり伝わってこない気がします。ポスティングの費用と効果について考えてしまいました。

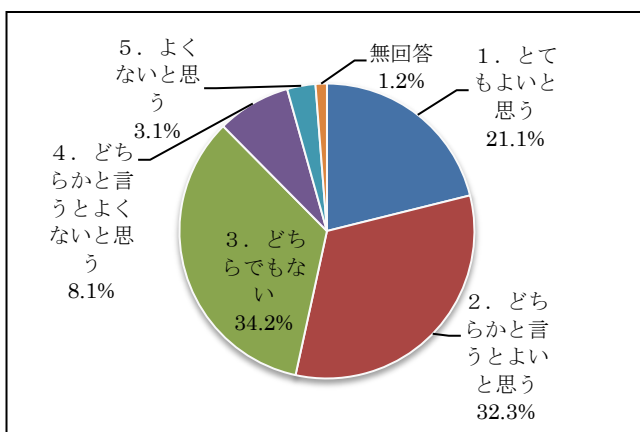
- ・ 宣伝不足
- ・ シティブランド戦略に取り組むことが目的で終わらないように。
- ・ 一部の人の参加ではあまり効果に期待できない。
- ・ どれくらいの方に興味を持っていただけるのかが不明だから。
- ・ 新居浜市のしていることは何をしても中途半端で魅力を感じないから。駅前も綺麗になったけれど、あかがねミュージアム含めて、行きたいと思えるものがない。どうせするなら市民や市外の人たちが駅に着いてすぐに遊んだりできるような商業施設を作ってほしかった。
- ・ 全国発信するほどのものがあると思えない。
- ・ 取り組みにより自分の暮らしが良くなるとは思わないから。

【問7で「4. どちらかと言うとよくない」「5. よくない」と答えた方からの回答】

- ・ 取り組んでも、働くところが少ないから人口が流出してしまうのが問題。
- ・ 初見ですが、中身がないと感じました。各施策の具体性、各施策同士の連携、実施策に対する予測効果がふわっとしている。ただし、定量化されていた各種データなどは、とても関心深かったです。せっきくのデータから施策が結びついていない印象を受けたので、もったいなく感じました。

問9. シティブランド戦略を進める上での市民の合言葉『Hello! New (ハロー! ニュー)』及びシンボルマーク (風船の形をしたもの) について、次のうちあてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

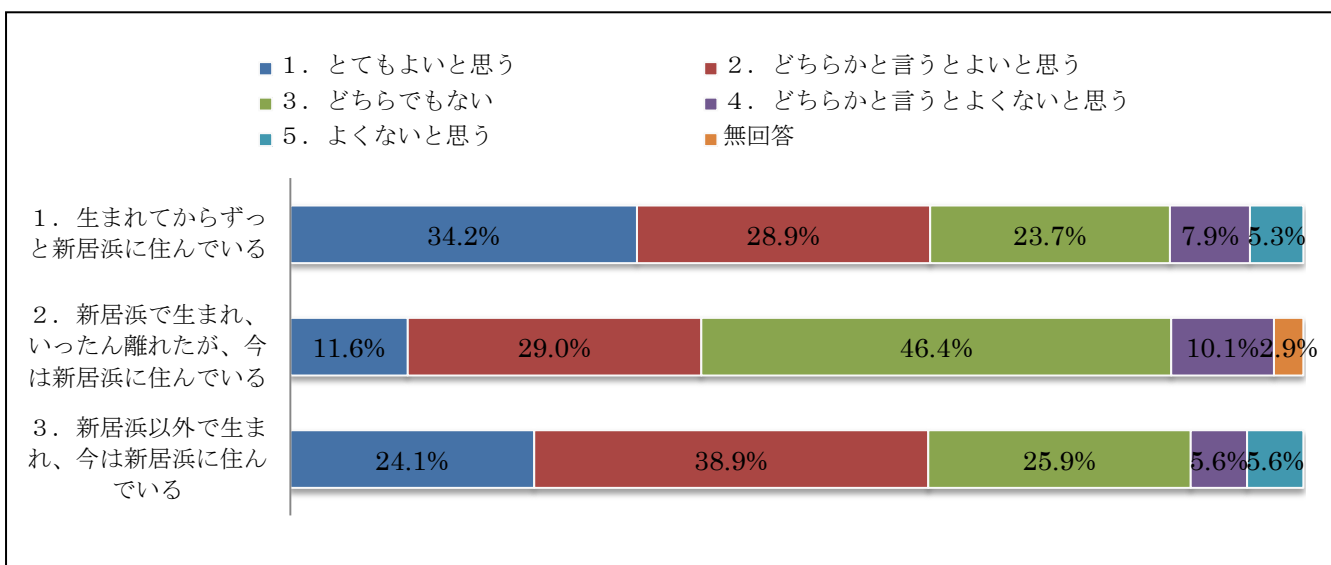
1. とてもよいと思う	34人
2. どちらかと言うとよいと思う	52人
3. どちらでもない	55人
4. どちらかと言うとよくないと思う	13人
5. よくないと思う	5人
無回答	2人
合計	161人



「3. どちらでもない」(34.2%)と答えた方が最も多く、次いで、「2. どちらかと言うとよいと思う」(32.3%)、「1. とてもよいと思う」(21.1%)の順となっています。

【クロス集計（問2×問9）】

	1. とてもよいと思う	2. どちらかと言うとよいと思う	3. どちらでもない	4. どちらかと言うとよくないと思う	5. よくないと思う	無回答	合計
1. 生まれてからずっと新居浜に住んでいる	13人	11人	9人	3人	2人	0人	38人
2. 新居浜で生まれ、いったんは新居浜を離れたが、今は新居浜に住んでいる	8人	20人	32人	7人	0人	2人	69人
3. 新居浜以外で生まれ、今は新居浜に住んでいる	13人	21人	14人	3人	3人	0人	54人
合計	34人	52人	55人	13人	5人	2人	161人



問10. 問9でその項目を選んだ理由を具体的にお書きください。（自由記入）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

【問9で「1. よい」「2. どちらかと言うとよい」と答えた方からの回答】

- ・シンプルでわかりやすい。
- ・親しみやすく、きれいな色で爽やかな印象でした。
- ・インパクトがあり、若者にも目を引きそう。
- ・風船のような形も良く、青地に白字の色彩も良い。清潔感と清涼感に満ちていると思う。合言葉「Hello! NEW」はシンプルで覚えやすい。
- ・青空に大きく羽ばたくといったイメージでいいと思います。
- ・新居浜市の魅力を市の内外へどんどん発信するのをイメージして、風船は良いと思う。
- ・新しい新居浜を拡散させたいというイメージが出ている。
- ・デザインは良いが何を伝えたいのかよくわからない。
- ・ぱっと目につくのでいいと思います。ただ、何をアピールするのが弱いと感じるので、これからの活動に期待したいです。

- ・愛媛・新居浜にはあまりないロゴなので、目につきやすくいいと思うが、新居浜市のものであることが、ロゴからもキャッチコピーからも内容を知らないで全くわからない。
- ・色はグリーン（＝森の街）にして欲しかった。
- ・イメージとマッチしていると思うから。
- ・見た目がかわいい。でもいまいち何を伝えたいかわからないです。
- ・新しいまちづくりに希望が持てる感じがする。
- ・口や耳で知るだけでなく、シンボルマーク等で大勢の人にこの戦略を知ってもらう方が、広まりが早いと思う。そして、このマークはわかりやすくいいと思います。

【問9で「3. どちらでもない」と答えた方からの回答】

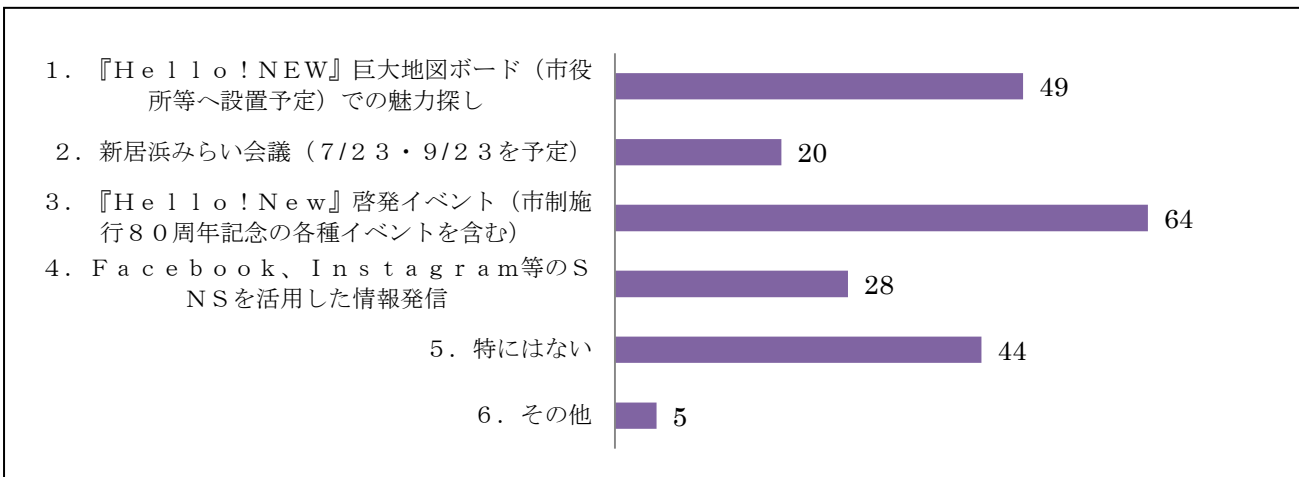
- ・メッセージ性があるのかどうかよくわからない。
- ・あまり新居浜のイメージがなく、何かな？と思う。
- ・どうして風船なのかかわからない。風船は手から離れるとどっちに飛んでいくかわからない。もっとじっくり考えるイメージが欲しい。
- ・アピール力が弱い。即効性に欠ける。
- ・高齢者にはわかりにくいかもしれない。
- ・ロゴマークなのでインパクトがもっとあっても良かったのではと思った。
- ・デザイン的にインパクトが弱い。「Hello!NEW」というキャッチフレーズがブランド戦略とマッチしにくい。
- ・見やすいとは思うけれど、これといった特徴はない。
- ・ぱっと見て新居浜市をイメージできるものが良かったと思う。
- ・形、色はとてもかわいくてシンプルで良いけど、「Hello!NEW」って何が言いたいかわからないです。
- ・風船はとてもいいが、色は新居浜市をイメージする色になっているだろうか？
- ・「Hello!NEW」「新しくこんにちは」ではなく、「Hello!NOW」「今をこんにちは」ずっと住んでいる人、これから住もうとしている人、「今」を意識してほしい。
- ・「NEW（新）」よりも「既」をアピールすることからのスタートではないでしょうか。
- ・全体的にまだまだ浸透していない、今度の対応次第。

【問9で「4. どちらかと言うとよくない」「5. よくない」と答えた方からの回答】

- ・わかりにくい、親しみにくい。
- ・自国語がない。なぜ英語なのか。
- ・合言葉と新居浜が合っていないように思う。年配の方にもわかるようにした方が広く受け入れてもらえると感じます。
- ・このデザインにした理由、この言葉「Hello!NEW」になった理由がわからないから。
- ・市民と調和が取れていない印象です。時間はかかるが、複数のロゴ案から市民に意見を募集、投票するなどして「市民が参加して決定した」感があると、ここまでの乖離は生まれなかったのではないかと思います。
- ・一目で目的がわかるようなものが良いと思います。
- ・ださいの一言に尽きる。合言葉も言いにくいし、変。
- ・「新しいものだけが良いもの？」と最初に思ったから。

問11. シティブランド戦略の取組の中で、あなたが参加してみようと思うものについて、次のうちあてはまるものをお選びください。(複数選択)

1. 『Hello!NEW』巨大地図ボード(市役所等へ設置予定)での魅力探し	49人
2. 新居浜みらい会議(7/23・9/23を予定)	20人
3. 『Hello!NEW』啓発イベント(市制施行80周年記念の各種イベントを含む)	64人
4. Facebook、Instagram等のSNSを活用した情報発信	28人
5. 特にはない	44人
6. その他	5人



「3. 『Hello!NEW』啓発イベント(市制施行80周年記念の各種イベントを含む)」(64人)、「1. 『Hello!NEW』巨大地図ボードでの魅力探し」(49人)などが、参加してみようと思う取り組みとして多く挙げられています。一方、「5. 特にはない」(44人)という意見も多くありました。

問12. 問11で「6. その他」を選んだ場合に、その具体的な内容をお書きください。(自由記入)

- ・個人で運営している新居浜の地域情報を取り扱うウェブサイトで「こんなものがあるよ」と紹介するかもしれません。
- ・ちょっとやそつとでは全国発信はできません。有名人やマスコミを活用、長続きで誰でも参加可の大きなイベント、新居浜の特長を一つではダメ、複数発信する、学生や若者を活用など。
- ・何かできるものがあれば参加したい。
- ・直接参加することはできないかもしれませんが、関心を持っておこうと思います。

問13. 新居浜市がシティブランド戦略の取組を進める上で、あなたが希望する内容や項目等がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・人口減少を抱えている中、高齢者にも優しい町並みとか商店街が身近にあるといいと思います。
- ・子育て世代への支援のあり方を見直してみるのはどうでしょうか？教育にお金がかかるのも若い世代の困り感の一つだと思います。成長期の子供たちへの文化的な興味関心が広がるような施設や企画を作ってほしいと思います。

- ・子どもの遊ぶところが少ない。車が多く走るようになり、小さい子が親と安心して遊べる公園や児童センターのようなものが少ない感じがする。
- ・若い男女に出会いの場をセッティングしてあげられませんか？そして結婚したがっている人に新しい生活を作ってあげてください。
- ・新居浜に大学を誘致してほしい。新居浜に若い人が居残る最善方法ではないかと思う。
- ・新居浜移住体験など。
- ・人を呼び込むためにはまずはインフラの整備が大切だと思います。また、今あるものを活用しつつ改善すること（例：昭和通りや登り道商店街の活性化、滝の宮公園に動物や施設を増やす、あかがねミュージアムにより芸術性を取り入れたイベントを増やす、等）。そして、「新しいこと」という点では、駅のイルミネーションを試してみたり、ご当地グルメの開発、食べもの広場のようなものをつくることを希望します。
- ・漁業、農業商品のブランド化。良い品の価値が評価されず、水揚げ力、生産力の低下になっていると思います。せっかくの美味しい食品が地元では売れず、都市へ送られていると聞きました。もったいないと思います。
- ・新居浜限定ではなくて、西条、四国中央の3市一体の行事やイベント、施設等も考え、協力していくのが良い。強力になるし、アピールも大きい。費用、活用の点でも有効である。今後、ますます人口が減少することも考慮する。
- ・地元で昔からお世話をしている方々の取り組みやお話を聞いたり、交流できるフォーラムを企画してください。
- ・Hello!今をがんばっている新居浜人いろいろ、特集など。本当に小さな場所、誰にも見られないところで誰かのために一生懸命がんばるマンがいます。すみずみまで人の暮らしの中を見つめることが大切なので競技とかではなく、皆の中からお宝の人を探します。そして紹介するという活動。
- ・若い人、高校生・中学生たちの意見には私たち大人の思いもよらぬ素晴らしいものがあります。多いに取り入れてもらいたい。「若者との懇談会」など。
- ・新居浜には世界に自慢できる色々な分野での技術と技術者がいる。若い人（中高生等）に紹介したらどうか。
- ・新居浜市の歴史と言えば別子銅山との歴史であり、シティブランド戦略と関連してアピールする何かを考えたい。
- ・「新居浜太鼓祭り」の全国への発信（アピール）方法と観光客の誘致作戦。太鼓祭りを新居浜市の観光資源とするならば、歴史と伝統を継続しながら抜本的改革が必要と思う。
- ・新居浜全体に活気が出るイベントなどがあればいいと思います。
- ・ゆるキャラや、有名人（水樹奈々さんとか）に来てもらいたい。
- ・おいしいもの。えび天などもよいと思います。
- ・特産品や観光地、祭りなどをアピールするよりも、安心安全をアピールできるようなことを市民全体で取り組めたらいい。交通マナー向上など。他地区から来た時、交通マナーの酷さに驚いた。
- ・小中学校の改善。30人学級、エアコン導入、支援員の強化など。教育重視の発信を。
- ・目標はとても良いと思います。でも、住みたいと思わせても仕事がないから住めないのでは。新しいまちには何がどうあろうとも、新しい企業、仕事。そうすれば人も集まるのでは。
- ・関西に向けてラッピングバスが走っていますが、増やすことができれば良いのでは？結構目立ちます。
- ・外に新居浜の良さを感じてもらうにはまず住んでいる人が幸せかどうかの方が大事では。目に見える華やかさは都会に敵わないけど、都会の人が羨ましいと思う何かを見つけられたらいいかなあとと思います。

問14. 新居浜市が進めるシティブランド戦略全般に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- もっともっと「Hello!NEW」の取り組みが市民に見えるように積極的な戦略を出してほしいです。
- シティブランド戦略は新居浜市のこれからの繋がる戦略だと思います。新居浜のいいところがたくさんあると思うので、全国または世界に発信してほしいです。
- 年金生活者も安心して生活できる戦略もPRすべきである。
- ブランド戦略を拡大するにしても、まずは若者が定住できるようにするのが問題では？
- 新居浜のいいところ、県外・市外に出た人たちが帰ってきたくなる市になるように、一つでも多く市民のためになるようなことを実践してほしい。「〇〇です」「〇〇だといいですね」だけでは人口は減る一方だと思う。他の市がやってないことをやってほしい。
- 戦略としては良いと思うが、具体的に見えてこない。核になるリーダーや組織の形が不明である。新しい何かを見つけ出し、住みよい新居浜をお願いしたい。
- 新居浜は新しい仕事が少ないと思います。土地に定着するには仕事は必須なのではないでしょうか？市外・県外に暮らしたこともあります。住居も平均的に見て安めとはいえない状況です。大事な点です。この点が改善されると向上すると信じております。期待しています。
- 新居浜に来た人がいつも言うのは、言葉が荒いから怖いイメージがあるが、みんな本当は親切でさっぱりした気質で住みやすい、とのこと。シティブランド戦略ではグローバルな形で、他から来た人、外国人、地元の人、みんなで「NEW」を考えられる場をつくってってください。
- 若い人、新しく新居浜に来た人の視点、意見を大切に汲み上げるといいのでは。
- 市外からの移住や観光促進のため、体験型ツアー（別子銅山関係見学に四阪島も入れ、太鼓台、公園、産直市巡り等）を計画してはどうでしょうか。
- 「新しい」の意味をはき違えないように。既存の施設の有効利用をもっと検討すべきだと思います。シティブランド戦略があまりにも漠然としているように思います。
- 取り組みは面白い。これまでの既存概念をぶち壊すくらいでいかないと、実現は難しいと感じます。
- 是非参加してみたい、ひとこと言いたい、と思える魅力のある企画をお願いします。
- これが新居浜！というものを発信していただきたいです。
- 私たちの税金を無駄にしないようにしていただきたい。
- 新居浜市の何を、どこをブランド化し、どのように広報していくのか全体像を示していくと良い。進め方として市職員のみでは限界があるので、色々な分野で活動されてきた先生方や市民OB、専門家等も戦略会議に参加して意見も広く聴取すればどうでしょうか。
- ロードマップというか、市としてのポートフォリオ、まずそれを示すべきだと思います。その中の一つであるはずの「新しい」というキーワードだけでは弱い。
- SNSでの情報発信は手軽に見られるので良いと思います。「いいね！」やリツイートで広めやすい。
- 市政だよりやタブロイド広報誌を活用して進捗状況の周知をしてほしい。
- いい活動だと思いますが、もう少しアピールを強化してほしい。市内や市役所でポスターはよく見かけるものの、活動に関してのアピールが弱い。
- 新居浜市職員全員がシティブランド戦略に関わっているという意識で、積極的に前向きに取り組んでほしい。

<まとめ>

今からちょうど1年前に、新居浜市シティブランド戦略を策定するにあたり、「新居浜市における都市ブランドの確立について」をテーマとして、市政モニターアンケート調査を行いました。

今回の市政モニターの属性を見ると、60歳代以上の方の割合が47.5%を占めていることから、設定テーマはとっつきにくく、関心が低いのではとの想定をしていましたが、昨年度と同様、回答率が89.0%と高い数値を示すだけでなく、6/23(金)に市役所においてシティブランド宣言イベントを行った直後のアンケート実施であったにもかかわらず、53.4%の方が当該取組について知っていただいております、52.2%の方が取組について「とてもよいと思う」と回答されていました。

さらに、「どちらかと言うとよいと思う」を合わせると、87.0%の方が肯定的な意見であることがわかりました。このことから、市政モニターのみなさんが、特に市政に対する関心が高い方であることを差し引いたとしても、市民のみなさんの多くが新居浜市に関心と愛着を持ち、それをさらに高めることで誇りにつなげたいという思いの表れではないかと推測され、この結果については重く受け止めています。

昨年度のアンケート結果において、新居浜市が誇れるものとしては、「新居浜太鼓祭り」と「別子銅山産業遺産群」の2つで7割を占めており、これらの財産をさらに磨いて新しくするとともに、これまでにない新しいものを生み出していくための取組がシティブランド戦略であり、そのスローガン（合言葉）が「Hello! NEW 新居浜」です。

シティブランド戦略は緒に就いたばかりですが、自由意見の中にあつたように、「新居浜市の価値を高めていこうとするのは良いことだと思う」「以前のような元気で活気のあるまちになってほしい」「戦略が弱いので、もっとHello! NEWを全面的に出してほしい」「市民の声を聞く機会を多くつくる必要がある」といった多くの貴重な意見を踏まえた上で、中途半端に終わらせることのないよう、行政だけではなく、市民のみなさんと一緒になって、魅力的で継続的な新しい新居浜をつくるための活動に取り組みますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(担当課：地方創生推進室)



©NPO 法人新居浜まちゆり隊

テーマ② 事故のない楽しい新居浜太鼓祭りの実現について

【調査趣旨】

市内太鼓台関係者や関係団体等で組織している新居浜市太鼓祭り推進委員会（事務局：新居浜市運輸観光課）では、毎年10月の新居浜太鼓祭りにおいて、昨年までに6年連続で太鼓台同士の鉢合わせが発生している現状を踏まえ、委員会内に平和運行検討専門部会を設置し、事故のない楽しい秋祭り実現に向けた方策について検討を行っています。

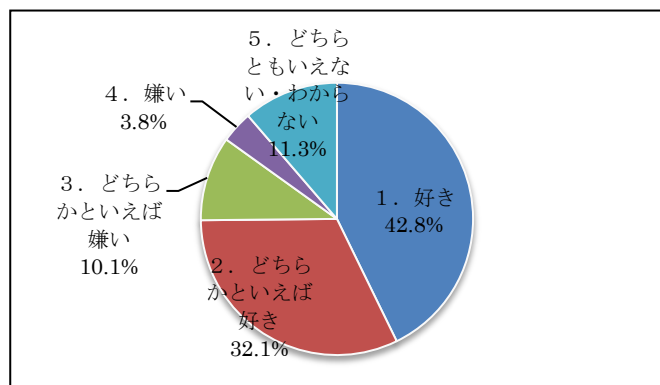
しかしながら、新居浜太鼓祭りは、各地区自治会や神社等が関係する宗教行事であることから、政教分離により市は祭りや太鼓台そのものの運営に関与することができず、対応に苦慮しているのが現状です。

そこで、今回のアンケートにより、太鼓台の鉢合わせ等、新居浜太鼓祭りの平和運行について、新居浜市民の皆さんの意識や意見をお伺いし、事故のない楽しい秋祭り実現に向けた方策の更なる検討に活かしてまいりたいと考えています。
(担当課：運輸観光課)

(※問1はモニター属性確認のための設問であり、省略)

問2. あなたは、新居浜太鼓祭り（秋祭り）が好きですか？次のうち、最もあてはまるものを1つだけお選びください。（1つ選択）

1. 好き	68人
2. どちらかといえば好き	51人
3. どちらかといえば嫌い	16人
4. 嫌い	6人
5. どちらともいえない・わからない	18人
合計	159人



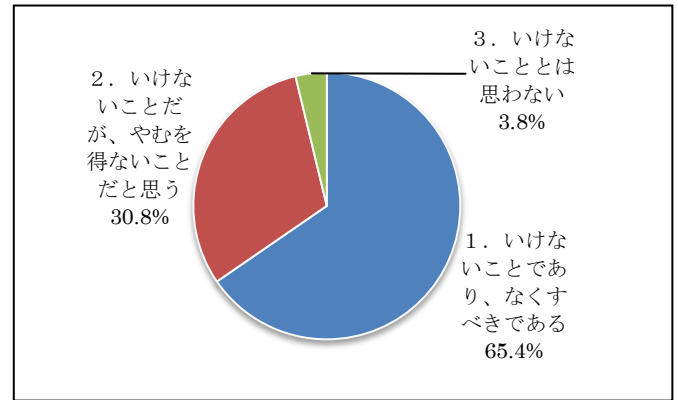
「1. 好き」(42.8%)と答えた方が最も多く、「2. どちらかといえば好き」(32.1%)を合わせると、全体の7割以上を占めています。

問3. 太鼓祭りにおける太鼓台同士の鉢合わせ（喧嘩）については、「各地区太鼓台運営委員会（協議会）」（注1）の取り決めにより禁止されています。鉢合わせについて、あなたはどのように感じていますか？次のうち、最もあてはまるものを1つだけお選びください。（1つ選択）

（注1）各地区太鼓台運営委員会（協議会）・・・

複数の太鼓台にて構成される団体で、各地区祭礼行事の実施主体。現在、市内には船木、角野、泉川、中萩、川東西部、川東、下郷・又野・松神子、川西、大生院の9地区があります。

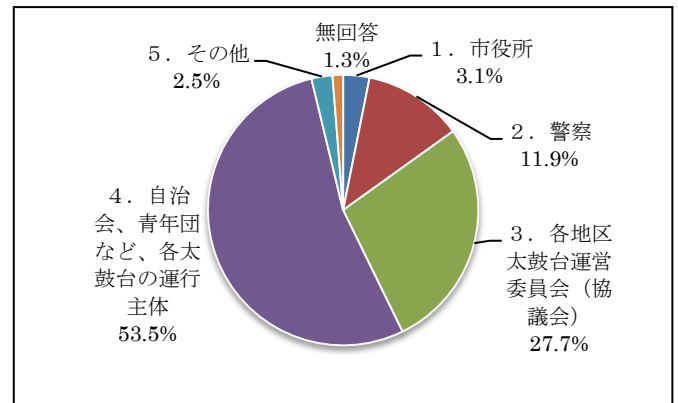
1. いけないことであり、なくすべきである	104人
2. いけないことだが、やむを得ないことだと思う	49人
3. いけないこととは思わない	6人
合計	159人



「1. いけないことであり、なくすべきである」(65.4%)と答えた方が最も多く、全体の6割以上を占めています。

問4. 鉢合わせを防止するため、市内の各団体等でいろいろな方策を実施しています。あなたは、次の各団体のうち、鉢合わせ防止のため、主に取り組む必要があるのはどこだと思いますか？最もあてはまるものを1つだけお選びください。(1つ選択)

1. 市役所	5人
2. 警察	19人
3. 各地区太鼓台運営委員会(協議会)	44人
4. 自治会、青年団など、各太鼓台の運行主体	85人
5. その他	4人
無回答	2人
合計	159人



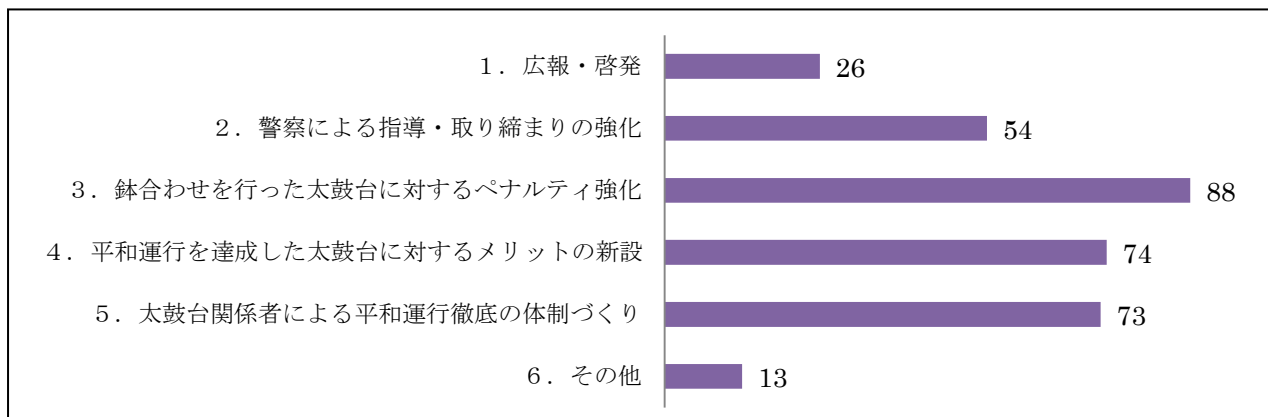
「4. 自治会、青年団など、各太鼓台の運行主体」(53.5%)と答えた方が最も多く、全体の5割以上を占めています。次いで、「3. 各地区太鼓台運営委員会(協議会)」(27.7%)、「4. 警察」(11.9%)の順となっています。

問5. 問4で「5. その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、鉢合わせ防止のため、取り組む必要がある主体(団体)を自由に記入してください。(自由記入)

- ・1つの団体ではできないと思います。主体ではなく、各団体が同じ立ち位置で横展開する感じがいいのではないのでしょうか。
- ・現状、それぞれの立場で一生懸命に取り組んではいると思います。今では太鼓祭りは新居浜市の祭りとして認知されてきており、市や警察の指導力が問われてくると思います。よって、どこが主に取り組むべきか1つに絞れません。
- ・昔から、どんな対策をとっても鉢合わせする時はすると思うので、特に取り組みを強化してほしいとは思わない。
- ・鉢合わせをいけないこととは思わないので、答えられない。

問6. あなたは、太鼓台同士の鉢合わせをなくすため、どのような方策に力を入れるべきだと思いますか？あてはまるものを全てお選びください。(複数選択)

1. 広報・啓発	26人
2. 警察による指導・取り締まりの強化	54人
3. 鉢合わせを行った太鼓台に対するペナルティ強化(運行停止期間延長、罰金等)	88人
4. 平和運行を達成した太鼓台に対するメリットの新設	74人
5. 太鼓台関係者による平和運行徹底の体制づくり	73人
6. その他	13人



「3. 鉢合わせを行った太鼓台に対するペナルティ強化」(88人)と答えた方が最も多いほか、「4. 平和運行を達成した太鼓台に対するメリットの新設」(74人)、「5. 太鼓台関係者による平和運行徹底の体制づくり」(73人)などが、力を入れるべき方策として多く挙げられています。

問7. 問6で「6. その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、どのような方策に力を入れるべきだと思いますか？自由に記入してください。(自由記入)

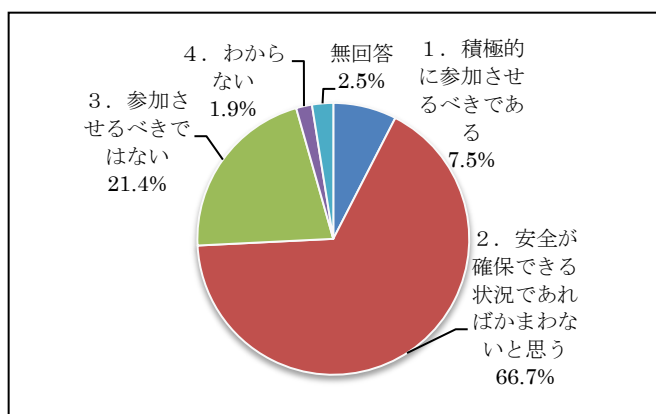
- ・鉢合わせをした太鼓台のペナルティを考えても甘いので、地区の自治会が協力しない(地域の人たちの協力ができなくなる)という取り決めにする。太鼓祭りは自分(かき夫)だけでなく、市民、観光客と共にするもの、そして神事であることを一番に重視すべきことであること、皆が幸せになることを祈っての祭りであることを徹底的に根付かせる。
- ・青年団や自治会役員、太鼓台運営者など全員集めて、警察や行政、太鼓台運営委員会から講話すべき。代表者だけに伝達してもだめ。全員が聞き、太鼓台の大切さを感じる。各地区ごとに自治会館や太鼓倉を使って実施する。
- ・かき夫個人の責任の明確化と処罰
- ・トラブルがあっても太鼓台運営委員会、協議会には何のペナルティーもないのが現状であると思う。太鼓台運営委員会と協議会に責任を持たせることが大事であると思う。
- ・「鉢合わせがあつてなんぼ…」と思っている人が多いので、なくそうと思つてなくなるものではない。鉢合わせも太鼓台の一部として考えているのをどうにかしないといけないと思います。
- ・指揮者は自治会で認めた地元の青年団員で固める。かき夫にはかき夫登録した者以外を入れない、入れる場合は地元の保証人を必要とする。自治会がもっと太鼓台の運行に関与して青年団の勝手にさせない。
- ・ルールを決めて太鼓台の鉢合わせをしたら良いのでは？人間同士ではなく太鼓台の鉢合わせは誰もが見

たいと素直に思っていると感じます。そういった場があれば無駄な喧嘩（鉢合わせ含む）も少なくなるのではないのでしょうか。

- ・鉢合わせ（喧嘩）ありきの新居浜太鼓祭りなので、なくす必要はない。見世物として、場所と時間とルールを決め、エントリーさせて、見物エリアも決めてショーにすればいい。それ以外は永久出場停止とする。公共物の損傷や人を殴るなどの行為は犯罪で処分する。
- ・鉢合わせはなくさないでほしい。私の周りの10代、20代の若者は太鼓祭りが大好きで都会に出ずに新居浜に残ってくれています。その方たちの期待を裏切らないように太鼓祭りをもっと盛り上げたい。
- ・鉢合わせ特区の設立。山根公園で好きな人だけが集まってやればいい。好きな人だけが見に行けばいい。
- ・かき夫の皆さんが熱くなれる何かの競技を考える。
- ・松山の神輿の鉢合わせのように安全な方法を考えるべき。
- ・根本的になくなるものを議論しても意味がない。取り締まりを強化するほど、祭りに参加している人間はさらに暴徒化する可能性がある。鉢合わせをすれば罰金いくら、とかでは鉢合わせはなくなり、新居浜太鼓祭りという祭事すら終わってしまう。他の自治体のお祭りではどのような取り締まりをしているか参考にしてみてはどうかと思う。

問8. 太鼓台の鉢合わせ防止やかき夫確保のため、市内の高校生もかき夫として参加できるようにすべきだとの意見があります。あなたは、高校生のかき夫参加についてどう思いますか？最もあてはまるものを1つだけお選びください。（1つ選択）

1. 積極的に参加させるべきである	12人
2. 安全が確保できる状況であればかまわないと思う	106人
3. 参加させるべきではない	34人
4. わからない	3人
無回答	4人
合計	159人



「2. 安全が確保できる状況であればかまわないと思う」（66.7%）と答えた方が最も多く、全体の6割以上を占めています。

問9. その他、太鼓祭りにおける太鼓台同士の鉢合わせに関して、ご意見がございましたら自由に記入してください。（自由記入）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・過去における鉢合わせの原因を検証し、どこに要因があるのか関係者が周知してほしい。信賞必罰をより明確にする。
- ・今までに様々な対策が講じられてきたにもかかわらず、鉢合わせがなくなるのは各運営協議会の対応が甘いと思う。次年度に絶対に出させないようにする、他の太鼓台に迷惑金を払わせる、安全運行した太鼓台にはフェアプレイ費を渡す、何か特典を与える、など色々案をだして検討すべき。
- ・鉢合わせをした太鼓台へのペナルティが軽すぎると思います。

- ・新居浜太鼓祭りは県外でもとても人気です。勇壮華麗な太鼓のかき比べがメインのはずなのに、一部の心無い人たちの行動でイメージを壊すのはやめてほしい。
- ・地区太鼓台運営委員会の取り決めにより鉢合わせを禁止されているが、効力がないと感じる。警察の取り締まり（法的手段）強化が必要と思う。
- ・自治会のかき夫不足による相互応援はよいが、外部団体の支援はコントロールできないので禁止すればよい。特に人同士の暴行や危険工具の使用は、警察が迅速に、かつ厳しく取り締まるとよい。
- ・いくら指導、取り締まりを強化、ペナルティ強化等をしても鉢合わせが行われるのは、太鼓台を担ぐ一人ひとりの平和運行への意識が低いからだと思います。太鼓台運営委員会、各太鼓台責任者は担ぐ人の意識改革を行うべきです。また、太鼓祭り推進委員会は市民に対しても平和運行の意義を今以上に訴えていくべきだと思います。
- ・見物客の中にも鉢合わせを煽るような風潮もある。見物客の心構えも肝心と思います。
- ・鉢合わせを面白い雰囲気がずっと続いている。その影響を子どもたちがどう受け止めていくか、深く考えてほしいと思います。子どもたちの目には、物を壊して喜ぶ大人たちの存在として映っていることを認識していただきたいです。ぜひ無くしてほしいと強く希望します。
- ・鉢合わせを見て育っている人にとっては、その時の高揚感が特別なものとして残っているのだと思います。でも人命にも関わることだということを、皆が再認識すべきだと思います。
- ・新居浜太鼓祭りは絶対と言っていいくらいメジャーな祭りにはならないと思う。祭りには鉢合わせがつきもの期待している不届き者が多くいるから、新居浜祭りがある限り鉢合わせはなくならないと思う。警察と運営委員会、行政との話し合いで3年程祭りを休んではどうか。
- ・マナーとカルールを守るようにPRするとよい。
- ・松山道後秋祭りの神輿の鉢合わせは楽しく見ることができます。重量感の違いを別にして、新居浜では何が問題でしょうか。県内県外の危険度の高い同様な祭りの施策や実態から学べるものはないでしょうか。
- ・岸和田のだんじり祭りを参考にすべき。また、平和運行を阻害するものは排除するシステムを構築する上部地区で行われている「寄せ太鼓」は観光客に感動されます。鉢合わせは他から来られた観光客には全く魅力がありません。
- ・新居浜在住2年目ですが、たまたま太鼓台の喧嘩が起きた近辺に住んでいて、怖くて室内から外の様子を伺っていると、喧嘩を見たい観客が無断で民家に侵入したり、塀を乗り越えて道路に出たり等、将来も新居浜に住み続けるか悩むほど治安の悪さが印象的でした。
- ・「新居浜太鼓祭りは宗教行事であるから、市は祭りや太鼓台そのものの運営に関与することができない」とあるが、ポスターの製作や配布状況などを見ると、市も観光の一つとして関わっているように思います。太鼓祭りにおける太鼓台同士の鉢合わせについて検討するのなら、政教分離の立場をどこまではっきりさせるかが大切だと思います。
- ・太鼓祭りにおける鉢合わせは、新居浜市の観光行事として恥ずかしいことであり、運行許可に自治会長の承認が必要なことを考えれば、資金面を含めて、鉢合わせをした太鼓台に関しては、今後自治会は関与しないことを徹底しないと平和運行は実現しないと思う。
- ・見物客が鉢合わせを期待している感じも見受けられる。突拍子もない意見ではあるが、市営球場や河川敷などの広い場所で、相手も決めてイベントのような形でやらせればよい。そうすれば人が人も出ないし、鉢合わせ自体も馬鹿らしくなくなってしなくなるかも。
- ・一定の場所を確保しての観光目的の鉢合わせも少しは必要と思う。
- ・かき夫減少の折、祭りは神事であることを子ども時代から根付かせる。鉢合わせは松山の神輿の鉢

合わせレベルに持っていく。あくまで観光、「かつてはけんか太鼓と呼ばれていた時代もありますよ」と言えるように。上部のかきくらべ寄せ太鼓が、川西・川東でもできるように新居浜太鼓祭りを高いレベルにしていきたい。意識改革が必要です。

- ・ 高校生のかき夫参加について、鉢合わせが毎年当たり前のように起こる現状では、高校生は難しいと思う。平和運行できたところだけ、とか制限はつけるべきだと思います。
- ・ 鉢合わせのない可能性の高い上部地区であれば高校生の参加は積極的に行えばよいと思う。
- ・ 高校生のかき夫参加は、「飲酒・喫煙を含めて」安全が確保できる状態であれば構わないと思う。
- ・ 18歳以前の参加は反対。そんな意見があることが驚きです。鉢合わせについては、パフォーマンスとしての小競り合いはいいかと思うが、負傷者が出るのはいけない。
- ・ かき夫がないなら運行しなければいい。鉢合わせがあるかもしれない、確実に鉢合わせを廃止できないものに未成年を関わらせてはいけない。

<まとめ>

新居浜太鼓祭りは、言うまでもなく地域住民が主役の秋祭りです。本アンケートは、事故のない楽しい秋祭り実現を目指す中で、太鼓台の鉢合わせに対する地域住民の方々の意識を把握したく実施しました。

設問のうち、問2においては、回答者のうち約4分の3の方が、太鼓祭りが「好き」「どちらかといえば好き」とお答えいただいております。太鼓祭りが新居浜の伝統行事として多くの市民から好感をもたれていることがわかりました。しかし、その一方で、問3において、6割以上の方が「鉢合わせはいけないことであり、なくすべきである」とお答えいただいていることから、多くの方は、鉢合わせを伝統行事としてとらえておらず、平和運行を望んでいるといえます。

しかしながら、回答者のうち約4%の方が、「鉢合わせはいけないこととは思わない」とお答えいただいております。鉢合わせを太鼓祭りの一部としてとらえ、望んでいる方もいることがわかります。

また、自由意見の内容も含め、祭礼行事の主催者である各地区太鼓台運営委員会（協議会）や各太鼓台の運行主体に対し、何らかの取組や対応を求める意見が多く寄せられているほか、問6においては、太鼓台の鉢合わせをなくすためには、半数以上の方が「鉢合わせを行った太鼓台に対するペナルティの強化」に力を入れるべきとお答えいただいております。太鼓台関係者により一層の取組が求められているといえそうです。

市内高校生のかき夫参加については、回答者のうち約3分の2の方が「安全が確保できる状況であればかまわないと思う」とお答えいただいております。高校生のかき夫参加については、伝統文化の継承や祭りの担い手確保等のメリットがありますが、鉢合わせによる負傷や飲酒・喫煙、学業への影響等、様々なリスクが懸念されます。いずれにしても、保護者や学校が安心して祭りに参加させられる環境づくりが必要不可欠であると思われます。

本テーマについては、自由意見においても非常に多くのご意見をいただきました。これは、太鼓祭りに対する市民の関心が高いことの表れといえるかと思っております。市においては、今回いただいた多くのご意見を参考にしながら、鉢合わせや事故による負傷等で悲しむ人が出ないように、また、太鼓祭りが市民の誇りであり続けられるよう、平和運行に向けた啓発や太鼓台関係者への働きかけに努めてまいります。

(担当課：運輸観光課)

テーマ③ 消費生活センターの周知度について

【調査趣旨】

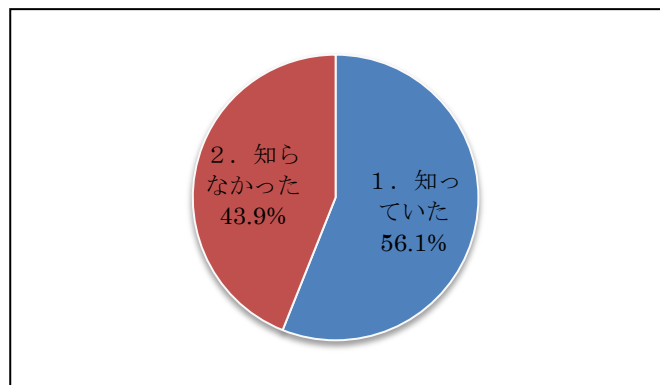
新居浜市内においても、特に高齢者に対する訪問販売などによる悪質商法や、還付金詐欺などの特殊詐欺、若者に多いインターネットでのトラブルなどの被害が多く発生しており、被害内容も多種多様化しています。新居浜市消費生活センターでは、消費者トラブルなどの相談を受け、解決に向けたアドバイスを行うとともに、トラブルの未然防止に向けて、出前講座や市政だよりなどを通じて啓発や情報提供を行っています。

このアンケートでは、消費生活センターについて皆さんの意識を調査し、今後の消費生活センターの運営の充実に活かしていきたいと考えています。
(担当課：消費生活センター)

(※問1はモニター属性確認のための設問であり、省略)

問2. 消費生活センターが新居浜市にあることを知っていましたか。(1つ選択)

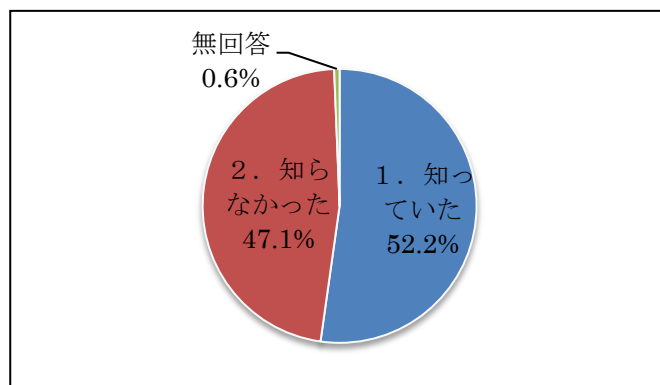
1. 知っていた	88人
2. 知らなかった	69人
合計	157人



消費生活センターが新居浜市にあることを「1. 知っていた」(56.1%)と答えた方は、全体の6割以内にとどまっています。

問3. 消費生活センターの業務内容について以前から知っていましたか。(1つ選択)

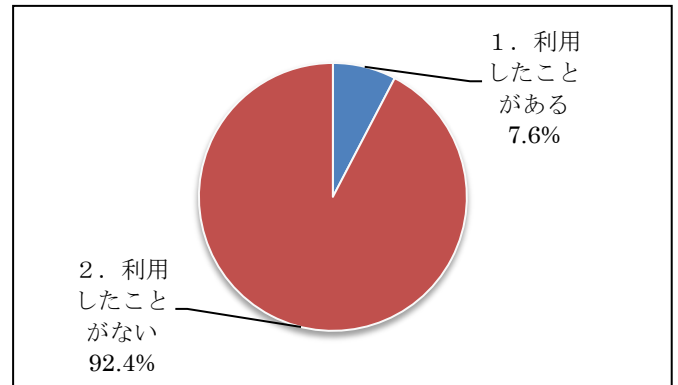
1. 知っていた	82人
2. 知らなかった	74人
無回答	1人
合計	157人



問2と同様に、消費生活センターの業務内容について以前から「1. 知っていた」(52.2%)と答えた方は、全体の約5割程度にとどまっています。

問4. 今までに「新居浜市消費生活センター」を利用されたことがありますか。(1つ選択)

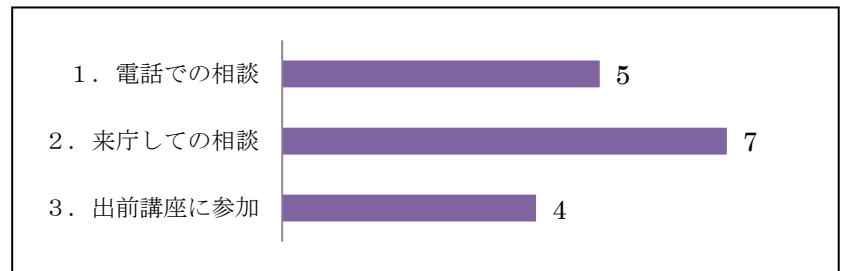
1. 利用したことがある	12人
2. 利用したことがない	145人
合計	157人



「2. 利用したことがない」(92.4%)と答えた方が大半で、全体の9割以上を占めています。

問5. 問4で「1. 利用したことがある」と答えた方にお伺いします。どのように利用されましたか。(複数選択)

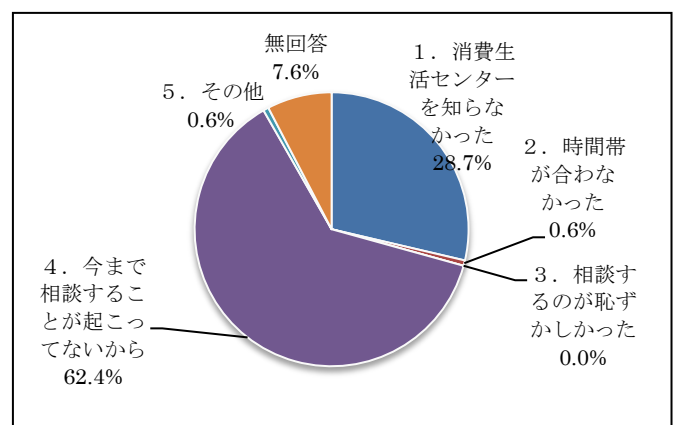
1. 電話での相談	5人
2. 来庁しての相談	7人
3. 出前講座に参加	4人



利用方法の中では「2. 来庁しての相談」(7人)と答えた方が最も多くなっています。

問6. 問4で「2. 利用したことがない」と答えた方にお伺いします。その理由は何ですか。(1つ選択)

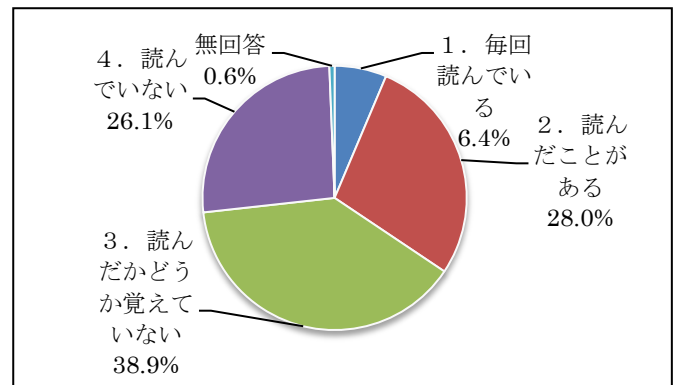
1. 消費生活センターを知らなかった	45人
2. 時間帯が合わなかった	1人
3. 相談するのが恥ずかしかった	0人
4. 今まで相談することが起こってないから	98人
5. その他	1人
無回答	12人
合計	157人



「4. 今まで相談することが起こってないから」と答えた方が最も多く(62.4%)、全体の6割以上を占めています。次いで、「1. 消費生活センターを知らなかった」(28.7%)と答えた方が多くなっています。

問7. 現在「市政だよりにいはま」では、「消費生活センター通信」を偶数月に掲載していますが、読まれたことはありますか。(1つ選択)

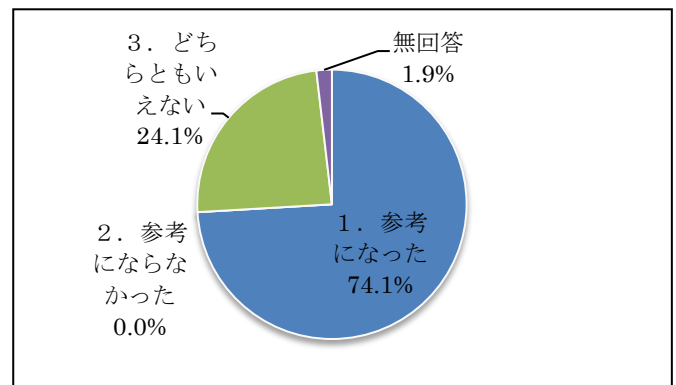
1. 毎回読んでいる	10人
2. 読んだことがある	44人
3. 読んだかどうか覚えていない	61人
4. 読んでいない	41人
無回答	1人
合計	157人



「3. 読んだかどうか覚えていない」(38.9%)と答えた方が最も多く、「1. 毎回読んでいる」(6.4%)・「2. 読んだことがある」(28.0%)と答えた方は、全体の3割程度となっています。

問8. 問7で「1. 毎回読んでいる」、「2. 読んだことがある」と答えた方にお伺いします。記事は参考になりましたか。(1つ選択)

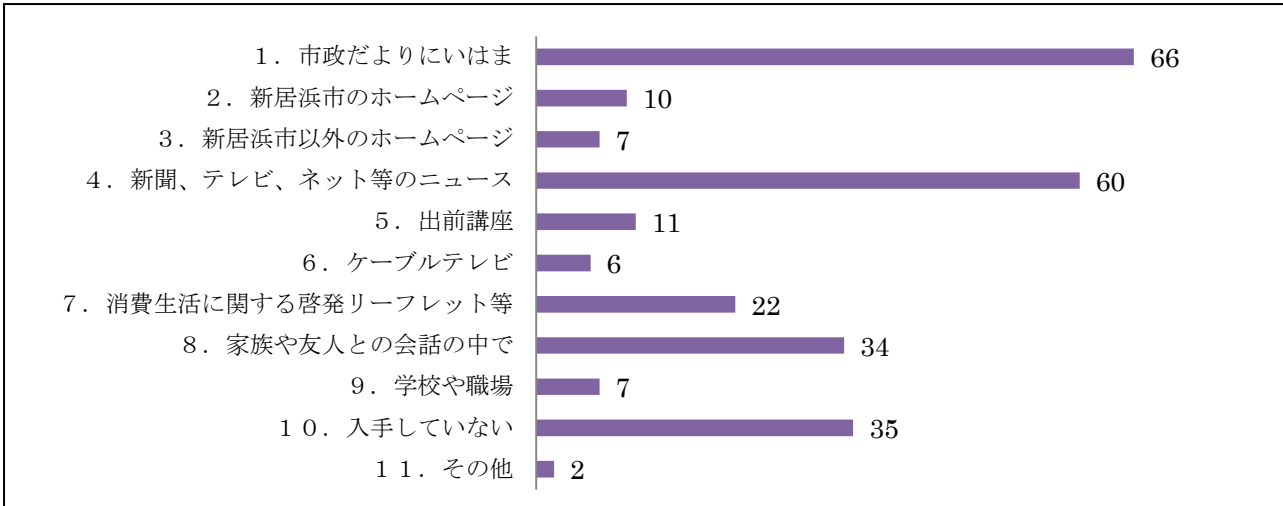
1. 参考になった	40人
2. 参考にならなかった	0人
3. どちらともいえない	13人
無回答	1人
合計	54人



消費生活センター通信を読んだ方では、「1. 参考になった」(74.1%)と答えた方が最も多く、全体の7割以上を占めています。

問9. 消費生活に関するトラブルの相談窓口や対処方法などの情報をどのように入手されていますか。(複数選択)

1. 市政だよりにいはま	66人
2. 新居浜市のホームページ	10人
3. 新居浜市以外のホームページ	7人
4. 新聞、テレビ、ネット等のニュース	60人
5. 出前講座	11人
6. ケーブルテレビ	6人
7. 消費生活に関する啓発リーフレット等	22人
8. 家族や友人との会話の中で	34人
9. 学校や職場	7人
10. 入手していない	35人
11. その他	2人



情報の入手方法として「1. 市政だよりにはま」（66人）、「4. 新聞、テレビ、ネット等のニュース」（60人）が多く挙げられていました。一方、「10. 入手していない」（35人）と答えた方も多くなっています。

問10. 問9で「11. その他」と答えた方にお伺いします。入手方法をご記入ください。（自由記入）

- ・インターネットや法テラス
- ・インターネットで検索

問11. 消費生活センターについて、ご意見などがありましたら、ご記入ください。（自由記入）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・消費生活センターの存在をよく知りませんでした。今後は市政だより等、目を通したいと思います。
- ・まだまだ市民に存在、使い方等が認識されていないと思います。もっと市民に認識される存在になれば消費生活のトラブルが減ると思います。
- ・消費生活センターには具体的にどのような相談が多いのでしょうか。知ってみたいです。
- ・これまであまり関心がなかったが、新居浜にあると知り、安心だと思った。もっと情報を発信してほしい。若者はあまり知らないと思います。
- ・今もしてくれていると思うが、事例を挙げる等して広く伝えてほしい。夜の受付もあれば問い合わせしやすいと思います。
- ・最寄りの行政にあるのは心強い。存続してほしい。
- ・活動報告をもっとアピールしてほしい。知っている人が少ないのでは。
- ・高齢者に対する訪問販売、悪質商法や還付金詐欺などの特殊詐欺、若者に多いインターネットでのトラブルなど、被害を受けてからでは遅く、未然防止に向けての活動を強化してほしい。最近の一般テレビ報道の方が具体的で理解しやすく記憶に残る。身近な市も頑張してほしい。
- ・パンフレットを置いてほしい。
- ・どんどん広報し、イベントをやり、子どもたちを巻き込めばよいのでは。子どもが関わるともれなく親はついてくるので、認知度も上がると思います。
- ・消費生活センター通信が市政だよりに載っていたのは知らなかった。読んでいたと思うのだが、頭の中に全く残っていない。重要なお知らせや注意の呼びかけなどは紙面の色を変えたりと、少し工夫すると

いいと思う。次月号からよく見ようと思う。

- ・ 市政だよりのどのページに消費生活センター通信が載っていますか？
- ・ 市政だよりにトラブル例を載せてほしい。
- ・ 出前講座での寸劇を見て、電話での対応など、安易に話してしまいそうだと感じました。悪質商法の勉強になりました。
- ・ 市役所に行って相談したことが数回あります。いつも親切に的確に相談に乗ってもらえて安心です。
- ・ 家族は絶対にだまされないとっていますが、想像以上の上手な手口にだまされるので対処方法を参考に家族で常に話しておこうと思います。
- ・ 地域への集中的な修理・工事などの訪問販売について、情報や兆候があればタイムリーに自治会等に対して注意喚起して被害予防処置をとるようお願いします。
- ・ 実際に生活している上でトラブルにあったことがないので、消費生活センターの明確な知識がなく、よくわからない。
- ・ 消費者トラブルは消費生活センターに相談に行かず、自分で解決している（恥ずかしいのでほとんど泣き寝入りしている）ケースが多いと思う。トラブルを未然に防止するため、市民にトラブルの対処方法をしつこいくらい広報するべきである。
- ・ 市政だよりやホームページで確認してみようと思うきっかけになりました。知らない、わからない市民の方が多いように感じます。意識づけは大切だと思いました。安心できます。

<まとめ>

新居浜市に消費生活センターがあることを知っていた人は6割以下ですが、消費生活センターがあることを知っていた人のほとんどは、業務内容についても知っていたようです。消費生活センターを利用したことがある人は1割以下で、利用したことがない人の6割以上が、相談することが起こってないからという理由でした。消費者トラブルにあってから相談窓口を探す中で消費生活センターがあることを知るケースが多いと思われます。

消費生活に関するトラブルの相談窓口や対処方法などの情報の入手方法については、市政だよりや、新聞、テレビ、ネット等のニュースからが多く、入手していないという人も多いようです。市政だよりに隔月で掲載している消費生活センター通信については、読んだ覚えがある人が3割程度でしたが、読んだ人の7割以上が参考になったとの回答でした。

自由記入欄では、消費者トラブルや悪質商法などの事例や対処方法について、もっと情報を発信してほしいという声が多く寄せられ、若者に向けた情報をもっと発信してほしいという声もありました。悪質商法などの手口は複雑多様化しており、消費者トラブルの未然防止や救済に向けて、より分かりやすい広報や啓発を心掛けていきます。

消費生活センターでは、電話または来庁による消費生活相談を受け付けているほか、消費者トラブルの未然防止に向けて、出前講座や、市政だより、ホームページ、ケーブルテレビ、パンフレットなどによる啓発を行っておりますので、お気軽にご利用ください。

(担当課：消費生活センター)